

平成27年11月11日

相生市議会議長  
吉田 政男 様

会派名 緑風クラブ  
代表者名 前川 郁典

出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	前川 郁典、大川 孝之、吉田 政男、阪口 正哉、田中 秀樹	
日程	平成27年10月13日 から 10月15日 まで 3日間	
月日	視察、研修、要請・陳情活動、会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
10.13	北海道苫小牧市議会	まちなか再生総合プロジェクト事業について
10.14	北海道旭川市議会	まちなか活性化交流拠点創出事業（まちなか交流館）について
10.14	北海道旭川市議会	旭山動物園について

旅費（5名分）	負担金（名分）	合計（5名分）
404,784円	0円	404,784円



視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1 観察先	北海道苫小牧市
2 日 時	平成 27 年 10 月 13 日 14:00~16:00
3 観察項目	まちなか再生総合プロジェクト事業について
4 観察者	緑風クラブ（前川郁典、大川孝之、吉田政男、阪口正哉、田中秀樹）
5 観察内容	<p>苫小牧市では、将来の人口減少、超高齢化社会に向けた「持続可能なまちづくり」の実施に向けて、平成 23 年 6 月に C A P （まちなか再生総合プロジェクト）を策定され、様々な施策に取り組まれており、事業の普及発展を目指す事はもちろんのこと、まちづくりに携わる人材の育成やネットワークの強化に着手されている。</p> <p>また、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまち」地域の特徴を生かした「誇りと愛着が持てるまち」を目指している。</p> <p>さらに、まちなか交流館、空き店舗活用、駅前周辺整備、まちなかグルメ、まちゼミなどの事業を展開し、交流人口の増加を目指している。</p>
6 所 感	本市においては、駅前整備の遅れ、また、3 大イベントにおける収容数の増加、人口減少対策への施策見直し等、多くの課題が残される。

視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1 観察先	北海道旭川市
2 日 時	平成 27 年 10 月 14 日 10:30~15:00
3 観察項目	まちなか活性化交流拠点創出事業について
4 観察者	緑風クラブ（前川郁典、大川孝之、吉田政男、阪口正哉、田中秀樹）
5 観察内容	平和通買物公園と称し、昭和 47 年 6 月に誕生した、日本初の恒久的歩行者天国であり、買物公園を中心軸とする中心市街地には、業務・商業・居住等の多様な都市機能が集積していた。しかし、近年郊外型の大規模な商業施設の開業、また、近年の車社会の進展や生活スタイルの変化により、中心市街地の人口も、市全体の小売業年間販売額における中心市街地のシェアも減少の一途を辿っている。そこで旭川市は、市民の意見を取り入れながら、中心市街地活性化基本計画を策定した。同時に、これまでに商工会議所が担ってきた賑わい創出事業に加え、市民団体が実施するイベントの支援、また、開催に関する調整・サポートを行うまちなかマネジメント協議会を立ち上げた。まちなか交流館には、観光情報センター・地産地消のランチメニューなどを提供し、市街地の活性化に取り組まれている。
6 所 感	本市には、旭川市のように、市を代表する商店街はないが、万葉の岬、道の駅（ペーロン城）をリンクさせて、行政リーダーシップの下、マネジメントを統括するプロを雇用するなど、本市の活性化のために、また、まちの賑わい創出を検討していくうえで、参考となり今後の検討課題とした。

視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1 観察先	北海道旭川市
2 日 時	平成 27 年 10 月 14 日 10:30~15:00
3 観察項目	旭山動物園について
4 観察者	緑風クラブ（前川郁典、大川孝之、吉田政男、阪口正哉、田中秀樹）
5 観察内容	<p>昭和 42 年 7 月 1 日に開園されており、飼育動物点数は、115 種（647 点）となっている。設置目的として、市民の動物に対する科学的教養を高めるとともに、合わせて市民の保健及び休養に資するためで、①レクリエーションの場②教育の場③自然保護の場④調査・研究の場として市民また、市外来園者より、幅広く利用されている。</p> <p>收支状況についても施設整備費以外での、一般会計からの繰入金もなく、自主運営されている一方、入園者については、昭和 42 年の開園時には 46 万人であったが、平成 16 年度からは 150 万人となり、ほぼ推移されている。</p>
6 所 感	飼育点数は、他園に比べ、多いとは言えないが、毎年、イベントを開催されている事、また、園内の見学ルートの工夫などにより、入園者もキープされている。閉園される動物園が増えている現状ではあるが、当園は存続されると痛感した。